本会記事

2026年度春季大会優秀講演発表賞受賞者

2026年度春季大会は，2026年5月26日（火）～28日（木）の3日間，大阪大学 コンベンションセンターで開催しました．学生会員の講演発表のうち，下記の9名の学生会員に優秀講演発表賞を授与することが決定致しました．

尾　崎　廉太朗　（名古屋大学）
「レーザプロセスによるFe基板上へのTiB_2/Fe複合被膜形成のための基礎検討」

鈴　木　絵　麗　（東北大学）
「磁化率測定によるMoSiBTiC合金粉末中の相分率評価」

村　井　祐　太　（大阪大学）
「Ti−6Al−4V焼結圧延合金におけるTri−modal組織の形成とその引張特性」

小　野　亜　実　（大阪大学）
「コアシェル構造Ti–TiN多孔質焼結複合材の摩擦摩耗特性」

畑　山　華　野　（東京科学大学）
「A, Bサイト共置換による$BiFeO_3$の弱強磁性発現」

岡　田　　　樹　（長岡技術科学大学）
「パルス通電焼結したCr_2AlCセラミックスの特性評価」

浜　本　裕　史　（玉川大学）
「鉄－高炭素合金メカニカルアロイング粉末を用いた鉄鋼材料の表面改質」

大　畠　新　大　（豊橋技術科学大学）
「硫化物およびハロゲン化物添加Li2S正極活物質を用いた全固体Li−S電池の反応解析」

木　村　玲　雄　（長岡技術科学大学）
「P123ミセルを固定化した塩素含有シリカ粒子へのピレンカルボン酸の導入」

（総評）

今春季大会全体の講演発表件数は106件，優秀講演発表賞への応募講演件数は43件でした．近年ホットなトピックスを研究テーマとした発表もあり，半数近くの発表成果が今後の研究，技術の発展に期待を寄せられる評価となっていました．益々研究内容を深め，次回もご発表頂けることを期待します．

（一社）粉体粉末冶金協会　会長　長滝　康伸